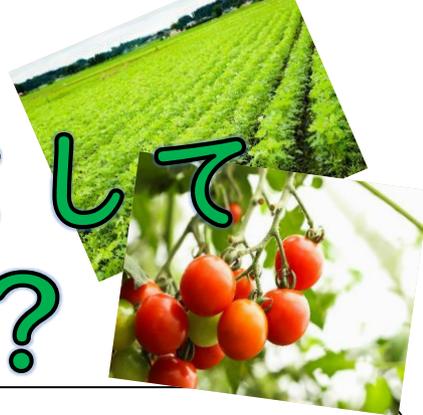


農業経営体の皆様へ

人材確保に繋がる第一歩！

農業体験の受入先として 登録しませんか？



<目的>

農業に興味を持ち、職業の一つとして考える人が増えています。一方で、このような方々が、農業者の話を聞き、農作業を体験し、自らの農業適性を判断していくための場所や機会が少ない状況があります。

就農を目指す人達が本格的な研修に入る前に、実際に農業体験（見学や短期研修（3日以上））をすることで、自分に合った品目や就農スタイルを発見すると共に、就農後のミスマッチ、早期離職等を防ぐため、農業体験を受け入れて下さる農業法人等を募集します。

<受入メリット>

- ・経営体のPRになる
- ・人材確保のきっかけ
- ・農業に関する率直な意見を聞くことができる
- ・様々な人との交流で職場に活気が出る
- ・農業の理解者増加に繋がる

<受入側の役割>

- ・農業に興味がある人への見学、短期研修(3日以上)の提供
- ・栽培する品目の基本的特徴(作型、収量、作業内容等)や販売方法等、経営概要に関する情報提供
- ・農家や田舎暮らしに関する情報提供

<受入の流れ>

就農相談会(月2回実施)



相談者が体験(見学・短期研修)を希望



希望内容(品目、地域等)に合う受入先に会社が受入を打診



受入決定



受入先と体験者が打合せ(集合時間、持ち物等)



体験実施(見学または短期研修3日以上)



受入先:実施報告書を公社へ提出
体験者:体験報告書を公社へ提出



公社が受入先に助成金を支払い
※見学の場合5,000円
体験の場合(3日以上)15,000円/人

<想定される体験者>

- ・就農相談会に参加した就農希望者
- ・相談内容から、農業現場での体験が有効と判断される相談者等

<登録方法>

- ①「受入に関する心得」を確認、承諾する
- ②「体験受入等登録シート」に記入
- ③(公社)みやぎ農業振興公社にメールまたはFAXで申込
- ④登録シートはみやぎ農業振興公社で管理
※申込用紙は公社HP又はQRコードより入手可能

<問合せ・申込>

公益社団法人 みやぎ農業振興公社
担い手育成班



〒981-0914

仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL 022-342-9190 FAX 022-275-9195

E-mail sodan@miyagi-agri.com

就農までの流れ

情報収集・農業体験

就農準備

経営開始

就農相談

農業体験

就農ビジョン

農業研修

農地・
住居の確保

新規就農

就農相談・情報収集

市町村、普及センター、就農相談会等での情報収集

農場見学・短期研修等

農業法人等での農業体験(見学, 短期研修等)

具体的な
ビジョンの策定

・どこで何を生産し、販売するかを明確化
・就農希望地や研修先の選定

就農に向けた
研修の開始

先進農家・農業法人等で農業技術・経営知識を習得

資金の計画

・農地や住居の確保
・農業機械や施設等の確保

雇用就農

独立・自営就農

親元就農

外で働くのは大好き！でも、農業ってどんな仕事？



色々品目あるけど、自分に合うのは何？

サラリーマン農業もあるんだね

<申込先>

公益社団法人 みやぎ農業振興公社 担い手育成班

TEL 022-342-9190 FAX 022-275-9195

E-mail sodan@miyagi-agri.com

体験受入等登録シート



←入力様式はこちらから入手できます

法人名(氏名)			担当者名	
所在地				
TEL:	FAX:	E-mail:		
ホームページURL				
経営作目・事業内容				
売上高		万円		
経営理念				
会社の特徴				
従業員数 (従業員, パート等)				
体験が可能な作目				
具体的な体験内容				
所在地までの交通手段			受入に関する心得 (確認の場合✓)	

農業体験(短期研修(3日以上))受入に関する 心得

お互い気持ちよく農業体験(短期研修(3日以上))を行うために、受入農家の皆さんに下記の点に留意していただきたいと思います。

1 体験受入時のガイダンス実施

単純労働者として扱う
ことがないように注意!

- ①経営者等からの自社概要説明や経営方針、事業内容の説明
- ②受入担当責任者、指導担当者、一緒に働く従業員の方々の紹介
- ③体験期間中の作業内容の説明及び作業安全の注意点
- ④社内規則(体験者に守ってもらうべきルール)の説明
- ⑤一緒に働く人達への目的等の周知



2 体験期間中の注意点

①就業時間を守る

※受入れ先の従業員の方と同じ就業規則に基づいて、1日の体験時間は8時間を超えないようにします

②作業内容(取り組む仕事の意味や全体の流れ等)の説明

※農業を初めて経験される方も多いため、思い込みや誤解が生じないように配慮しましょう

③体験者の体調に合わせた作業の取り組み

※気温や湿度、場所等に配慮し、休憩や声かけをしながら進めましょう

④危険を伴う作業や機械の操作はさせない

※体験者は一日保険(傷害)に加入する予定です

⑤ハラスメント(苦痛を与える)行為の禁止

※セクハラ、パワハラ、モラハラは、ほかの人は問題ないと思っても、その人が被害にあっていないと感じた時点で成り立ちます



※見学の場合も、上記の内容を心がけ、見学者の視点で質問には分かりやすく答えていただくと助かります。

<申込先>

公益社団法人 みやぎ農業振興公社
担い手育成班 宛
FAX 022-275-9195
E-mail sodan@miyagi-agri.com

<送信者>

送信日: 令和 年 月 日
法人名:
氏名:
連絡先:

(記入例) 体験受入等登録シート

法人名(氏名)	株式会社 ○○農産	担当者名	△△△
所在地	宮城県仙台市青葉区○○		
TEL:	FAX:	E-mail:	
ホームページURL	*HPがなければ、自社が紹介されている他社のHPでも可能 (会社のイメージを伝えるため)		
経営作目・事業内容	(1) 水稻(40ha), 大豆(20ha), 麦(20ha) 地域の農地を預かり, ローテーションで品目を変え栽培しています。 (2) 葉菜類(チンゲン菜, 小松菜)(1ha) 年間を通じてハウス栽培し, 毎日出荷しています。 (3) ドローンでの防除等受託 農業用ドローンによる肥料・農薬の散布等を地域から受託しています。		
売上高	7,000 万円	*直近の公表可能な数字	
経営理念	・地域の皆さんから預かった農地をしっかりと守ります ・美味しい農産物を届けます ・若い人が夢を持てる農業を実践します		
会社の特徴	・大型機械やドローンを使った土地利用型の品目と, ハウスでの葉物類の栽培を柱とし, 年間を通じて仕事をしています。 ・若い人や女性が多い職場です。		
従業員数 (従業員, パート等)	正社員 4人, パート 5人		
体験が可能な作目	(1) 水稻, 大豆, 麦 (2) 葉菜類(チンゲン菜, 小松菜)		
具体的な体験内容	(1) 水稻(苗の管理, 田植え等), 大豆・麦(播種時の作業補助, 選別作業等) (2) チンゲン菜, 小松菜(播種, 収穫, 袋詰め等)		
所在地までの交通手段	東北道●●ICから車で10分	受入に関する心得 (確認の場合✓)	✓
		(公) みやぎ農業振興公社 確認日	